

都民ファーストの会 東京都議団 都政レポート

東京都議会議員

両

角

穢

もろすみみのる



2017年春号 2017年3月発行

●両角 穢（もろすみ みのる） 八王子生まれ・八王子育ち。明治大学政治経済学部政治学科卒、埼玉大学大学院政策科学研究科修了〔公共政策修士〕。現在、政策研究大学院大学後期博士課程で公共政策を研究中。八王子市職員、横浜市職員、八王子市議会議員（4期）を経て、2013年より東京都議会議員（1期目）。都議会では総務委員会委員、厚生委員会副委員長、オリンピック・パラリンピック推進対策特別委員会委員、豊洲市場移転問題特別委員会委員、東京都都市計画審議会委員などを歴任し、現在は、警察・消防委員会理事、東京都住宅政策審議会委員、東京都国土利用審査会委員。

これまで2年半にわたり会派幹事長を務める。



Facebook



twitter

もろすみみのる



東京からカエル!!



本格的な春の訪れを前に、東京都では小池知事が初めて編成する予算案が発表されました。

この予算案は2月22日から始まった平成29年第1回都議会定例会で審議されていきます。

一方、昨年移転が見送られた豊洲新市場は、1月14日に9回目（最終）の地下水モニタリング調査の結果が発表されました。これまでの調査結果から大幅に悪化をした有害物質の数値が示され、衝撃が走りました。

また、7月に任期満了を迎える都議会議員の選挙が、6月23日告示、7月2日投開票と正式に決定されました。

このたびは、昨年末の平成28年第4回都議会定例会以降の都政の動きを中心にお伝えします。

都知事とともに、東京を変えるファースト・ペンギンとして頑張ります! かがやけTokyoから都民ファーストの会 東京都議団へ



都民ファーストの会東京都議団がスタート（1月）

去る1月23日、これまで2年余り活動をしてきた我々の会派「かがやけTokyo」は名称を「都民ファーストの会東京都議団」へと変更し、再出発しました。

この間、幹事長として会派のとりまとめ役を務めてまいりましたが、最近では「かがやけTokyo」の名称は都民の方のみならず、他県の方にも浸透し、親しんでいただいているだけに、少し寂しい気持ちもあります。

とはいって、小池知事が「初登庁の時に迎えてくれた彼らこそがファースト・ペンギン」と称えてくれたように、私たちは、今後とも勇気をもって、東京大改革を前進させるよう全力で取組んで参ります。

ファースト・ペンギンとは …

群れの中で勇気を持って、シャチなどがいるかもしれない危険な海に最初に飛び込むペンギン。転じて、リスクを恐れず勇気を持って新しいことにチャレンジする人のことを言う。小池知事が記者会見で都民ファーストの会東京都議団の都議3人のことをファースト・ペンギンと呼んだ。





平成 28 年第 4 回定例会で一般質問をおこなう

この定例会で両角みのるは、①都立広尾病院の移転問題、②政党復活予算の廃止、③ライフ・ワーク・バランス、④受動喫煙防止対策のそれぞれについて政策提言と質問を行いました。

小池知事、都立広尾病院の移転を白紙化へ！

都立広尾病院の移転問題については、移転決定にかかるプロセスの不透明さと手続きの瑕疵を指摘し、このままの移転建替えで良いのか疑問を呈しました。都は「適切なものである」との答弁をしていましたが、定例会終了後に知事から「都立広尾病院の青山への移転建替えは白紙とする」ことが表明され、今年度予定されていた約370億円の青山用地の取得は取りやめすることが決まりました。



移転計画の白紙化が表明された都立広尾病院と移転予定地の旧青山こどもの城(右)

Q 両角議員：移転改築を決定したプロセスが不透明であり、都庁内での土地取得依頼手続き等も通常の行政手続きから逸脱している。首都災害医療センター基本構想検討委員会での都の移転決定の経過説明は十分に理解することができるものではないが、どうか？

A 病院経営本部長：検討経緯は前知事への説明内容も含め、専門家や関係者を含めた検討会で丁寧に説明して理解を得ている。

都立広尾病院移転問題

舛添前知事の時代に、老朽化した都立広尾病院の青山国有地（旧こどもの城）への移転建替えが決定された。しかしながら、前広尾病院長など病院関係者は現地での建替えを強く主張してきた経過があり、医師会等医療関係者からも青山移転については疑問が呈されている。両角は、用地費だけでも370億円を超える大規模プロジェクトの決定過程が不透明であり、手続き上も問題があることを指摘してきた。マスコミでも決定過程の不透明さが再三にわたり取り上げられている。

政党復活予算枠廃止の狙いを問う！

東京都には独自な慣行として予算の議会枠、いわゆる政党復活枠がありました。これは、最終的な予算案を発表する前に、都議会各会派の要望を受け予算化するもので、復活財源として200億円が充てられてきました。



本会議で復活予算の固定化した実情を指摘

永きにわたり、議会（実質的には最大会派である都議会自民党）が200億円の財源枠を有していたのが実態です。しかし、全国の都道府県でこのような慣行があるのは東京都だけです。

しかも、何年にもわたり、復活される項目は固定化しているのが実情でした。このように政党復活枠は、各種団体からの要望に対応して補助金等を予算化し差配する都議会最大会派の既得権との指摘がなされてきたのであり、今回、都議会の聖域と言わたるこの部分に小池知事が手を付けたことにより、都議会自民党から大きな反発を受けたのでした。

Q 両角議員：今般、知事は、いわゆる政党復活枠の廃止を打ち出ましたが、その趣旨と狙いを伺う。また、都民ファーストの視点から、どのように予算編成過程の見直しに取組んでいくのか。

A 小池知事：各種団体や都議会各会派から広く意見や要望を聞く機会を設けるとともに、各局の予算要求内容や査定状況をホームページに公開するなど予算編成のあり方を大幅に見直す。こうして情報公開を徹底するのに合わせて、これまでの既得権化してきた、いわゆる政党復活予算の仕組みは終了させる。

これまで、これからも… 改革の先頭を走り続けます！

私たちは、一貫して議会改革を訴え、行動してきました！

都議会議員が報酬とは別に本会議などに出席すると12,000円（区部選出の議員は10,000円）が支給される費用弁償については、これを廃止し実費支給にすべきであると考え、受領せず法務局に供託し、議員提案で改正条例案を提案してきました（議会多数派に放置され採決に至っていません）。

また、昨年には議長あてに、費用弁償の見直しの他、議員報酬の削減、政務活動費の使途のインターネット公開、各種委員会・審議会の公開などの具体的な提案をするなど議会改革を先導してきました。合議制のなかで、なかなか前へ進まなかった議会改革も小池知事誕生で環境が一変。最近は各会派に自ら議会を変えていく意識が共有されつつあります。

これからも、私たちは、都民ファーストの視点で議会改革をしっかりと前進させ、都民から信頼される、機能する都議会としていくよう力を尽くしてまいります。

★都議選日程が確定★

6月23日(金)告示
7月2日(日)投票開票

東京都選挙管理委員会は任期満了に伴う
都議選の日程を決定しました。

こちらまで

都政のこと、八王子のこと…
皆さんの声をお寄せ下さい。

東京都議会議員 もろずみみのる 事務所

〒192-0051 八王子市元本郷町1-18-2 木下ビル2階
電話：042-620-8155、FAX：042-620-8177
e-mail：hachioji.m@gmail.com

